

氏名	千田 真友子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 6791 号
学位授与の日付	2023 年 3 月 24 日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 (学位規則第 4 条第 1 項該当)
学位論文題目	Venous Thromboembolism in Eating Disorders: A Retrospective Observational Study (摂食障害における静脈血栓塞栓症: 後ろ向き観察研究)
論文審査委員	教授 塚原宏一 教授 伊藤 浩 准教授 岡田あゆみ

学位論文内容の要旨

摂食障害は低体重や過食嘔吐による身体合併症も多く、精神疾患の中で最も死亡率が高い。静脈血栓塞栓症(VTE)も、身体合併症の一つとしていくつかの報告があるが、症例報告に留まっており、その発症の特徴や実態は不明である。本研究では、VTE を発症した摂食障害入院患者の臨床的特徴および予測因子を探索的に明らかにすることを目的とし、2016～2020年に岡山大学病院精神科神経科に入院した摂食障害患者についてカルテの後方視的調査を行った。入院 71 例中、5 例が VTE と診断された。VTE 群と non-VTE 群を比較すると、VTE 群では、有意に高い年齢、長い罹病期間、低い入院時体重および BMI、中心静脈カテーテル使用の多さを認めた。また、単変量ロジスティック回帰分析では、罹病期間、入院時体重、BMI、D ダイマー値、身体拘束、中心静脈カテーテルの使用において有意差を認め、複数の VTE 発症の予測因子が示唆された。

論文審査結果の要旨

摂食障害 (Eating Disorders: ED) は極端な痩せや過食嘔吐に随伴して多くの身体合併症を呈する。ED は精神疾患の中で死亡率の高いものの 1 つである。静脈血栓塞栓症 (venous thromboembolism: VTE) は ED の重要な身体合併症の 1 つであるが、その発症の特徴や実態については十分には明らかになっていない。

本研究では、VTE を発症した ED 患者における臨床的特徴や危険因子を明らかにすることを目的として実施された。2016 から 2020 年にかけて岡山大学病院精神科神経科に入院した ED 患者を対象にした。それらの患者について、診療録の後方視的調査を行った。

結果: この間、当院には 71 名の ED 患者が入院していた。そのうち、5 名が VTE と診断された。VTE 群 (5 名) と非 VTE 群 (66 名) を比較すると、VTE 群では、有意に高い年齢、長い罹病期間、低い入院時体重および BMI、多い中心静脈カテーテル使用が認められた。D-dimer が計測されていたのは VTE 群で 5 名 (全例)、非 VTE 群で 30 名であったが、VTE 群で有意な高値が認められた。また、単変量ロジスティック回帰分析では、罹病期間、入院時体重、BMI、D ダイマー値、身体拘束、中心静脈カテーテルの使用が VTE 発症において有意な危険因子になっていた。

本研究において、ED 患者における VTE 発症に複数の危険因子があることが示された。本研究は、ED における VTE 合併の危険因子について重要な知見を得たものとして、価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。